

高校生等へのアントレプレナーシップ教育 ～広がるEDGE-PRIME Initiativeの取組～

科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課

はじめに

文部科学省では、アントレプレナーシップ教育（以下、アントレ教育）の機会を小中高生に対しても提供し、子供たちが起業やチャレンジを身近に感じ、積極的に行動することができるようになることを目指しています。その中核事業が「EDGE-PRIME Initiative」（以下、EDGE-PRIME）です。

本稿では、6月以降、各地域で動き出したEDGE-PRIMEの取組の一部を紹介します。アントレ教育の全体像や考え方、EDGE-PRIMEの概要については、5月号の「教育委員会月報」で詳しく紹介していますので、是非ご覧ください。

▼教育委員会月報（令和5年5月号）

https://www.mext.go.jp/content/20230515-mxt_syoto01-000029781_0.pdf



400名超が参加したキックオフイベント

6月3日、日本最大級のイノベーション集積地であるCIC Tokyo（東京都港区虎ノ門）で、EDGE-PRIMEのキックオフイベントを開催しました。小学校から高校までの各学校現場の先生方や高校生をはじめ、大学、自治体、民間企業関係者等合わせて150名以上が会場に集結し、全国から250名以上がオンラインで参加しました。イベントには、文部科学省から任命している起業家教育推進大使も多数参加し、若者たちへエールを送りました。また、各学校や自治体等でアントレ教育に取り組む方々から、現場での実践例や支援策などが紹介されました。イベント後半には高校生たちがピッチを披露し、アントレプレナーシップの発揮の場として、会場を盛り上げました。

イベントの様子はアーカイブ動画をご覧ください。

▼キックオフイベントのアーカイブ動画

https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/platform/index_00008.htm



キックオフイベント（6月3日開催）

EDGE-PRIME 取組事例

早稲田大学で行われた「アントレ教育の全国先進事例共有シンポジウムとネットワーキング」

「何から始める?」そのようなアントレ教育への困りごとを少しでも解消し、各学校での取組を応援できるよう、GTIE（Greater Tokyo Innovation Ecosystem）は8月5日、全国先進事例共有シンポジウムを早稲田大学で開催し、会場とオンライン合わせて200名超が参加しました。

午前の部では、起業家教育推進大使の出雲充氏が講演し、自身の原体験を振り返りながら、アントレプレナーシップの必要性を熱く語りました。

午後の部では、パネルディスカッションとして、既にアントレ教育を取り入れている学校から、校長・教頭先生たちによるセッションと、現場の先生たちによるセッションが行われました。また、先進事例の紹介として、約30の高校等がポスター発表を行い、会場では熱気に包まれた交流会も開催されました。

当イベントの続編として、12月には高校生によるアントレ教育プログラムの成果発表会と、高校教員向けアントレ教育研修会が行われます。詳細は決まり次第、以下に掲載されます。

▼12/26高校生による成果発表会（予定）

<https://www.waseda.jp/inst/entrepreneur/news/2023/08/24/4446/>



▼ 12/27 高校教員向け研修会（予定）

<https://www.waseda.jp/inst/entrepreneur/news/2023/08/02/4390/>



〈イベントに登壇した高校等〉

○校長・教頭先生たちによるセッション

「学校として取り組むアントレプレナーシップ教育」

登壇者：小林 正士氏（茨城県立つくばサイエンス高等学校）／鈴木 栄次氏（千葉県立千葉商業高等学校）／武沢 護氏（早稲田大学高等学院）／田宮 邦彦氏（新庄東高等学校）

モデレーター：松澤 直子氏（神奈川県立藤沢西高等学校）

○現場の先生たちによるセッション

「具体事例から学ぶアントレプレナーシップ教育」

登壇者：大山 力也氏（神山まるごと高等専門学校）／秋月 麻衣氏（大阪府立淀商業高等学校）／込山 望氏（立花学園高等学校）

モデレーター：長谷川 博和氏（早稲田大学）

○ポスター発表を行った高校等（大学、民間企業等は除く）

神奈川県立麻生総合高等学校／佼成学園中学校・高等学校／芝浦工業大学附属中学高等学校／聖学院中学校・高等学校／千葉県立千葉商業高等学校／東京都立晴海総合高等学校／宝仙学園中学校・高等学校／山脇学園中学校・高等学校／早稲田実業高等部／新庄東高等学校／神山まるごと高等専門学校／大阪府立淀商業高等学校／立花学園高等学校／新渡戸文化中学校・高等学校／早稲田大学高等学院



全国先進事例共有シンポジウム（8月5日開催）

山形県立鶴岡工業高等学校×山形大学による「総合的な探究の時間」を活用した協働プログラム

「鶴岡から次世代産業を創ろう!」をテーマに、山形県立鶴岡工業高等学校と山形大学アントレプレナーシップ教育研究センターが連携し、2年生全員に「総合的な探究の時間」を使ったアントレ教育プログラムを始めました。

プログラムを通じ、生徒は社会課題の発見と解決に繋げるための基本的な知識を身に付け、チームでビジネスプランが作成できるようになることを目指します。先生たちは、生徒へのメンタリングを通じ、アントレ教育の教え方やアントレプレナーシップを育成できる力を身に付けます。

メイン講師は山形大学アントレプレナーシップ教育研究センターの小野寺 忠司 センター長と、菅生 達仁 副センター長が担当し、高校で自律的な取組ができるよう年間通じて伴走支援しています。



鶴岡工業高等学校での授業（6月14日開催分）

おわりに

この他にも、大学が有するアントレ教育の知見や教育研究力を活かし、各学校現場と連携したアントレ教育プログラムが広がっています。

文部科学省では12月、「全国アントレプレナーシップ人材育成プログラム」を実施します。主に大学生向けですが、見学等も可能です。詳細は以下のリンクからご覧ください。

▼文部科学省主催「全国アントレ人材育成プログラム」

<https://entrepreneurship-education.mext.go.jp/>

